

令和7年度第2回
蒲郡市まちづくりDX推進コンソーシアム 会議資料

令和8年3月18日(水)14:00～
蒲郡市企画部デジタル行政推進課

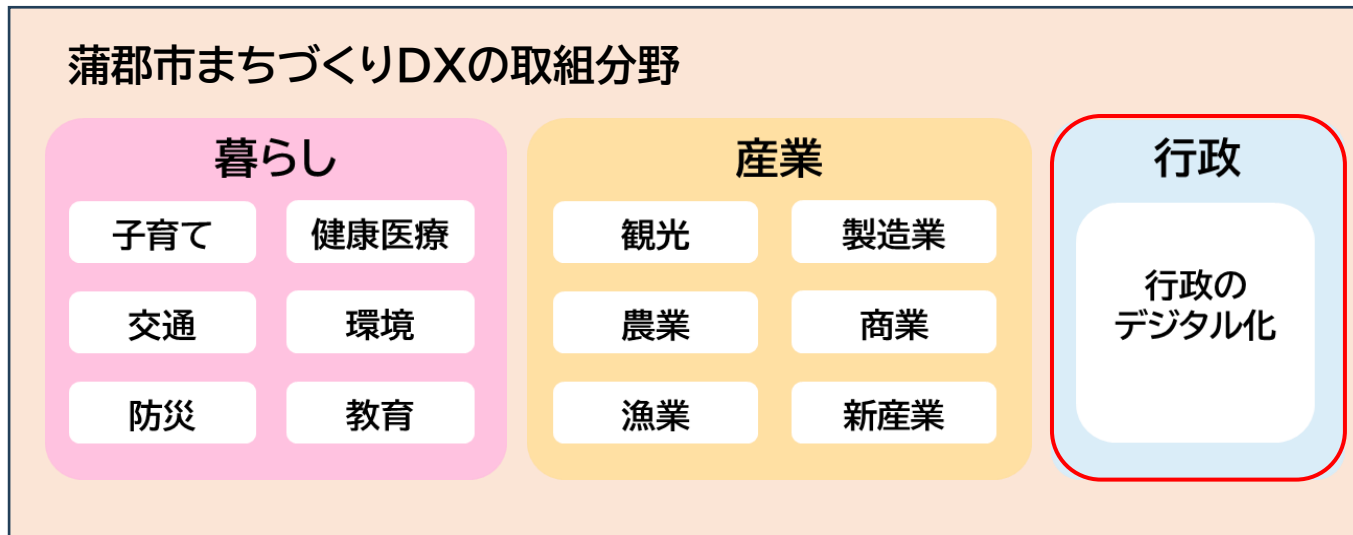
次第

1. 行政DXの進捗について
2. 座談会の結果について
3. 今後の作業部会の方向性について

1. 行政DXの進捗について

◆ 取組分野

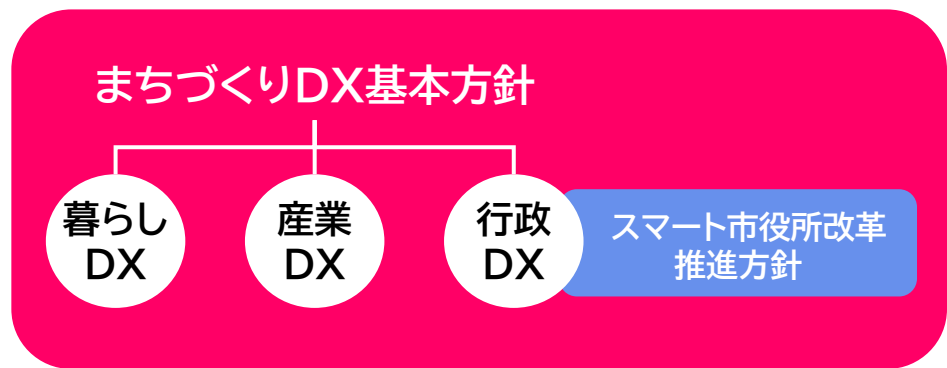
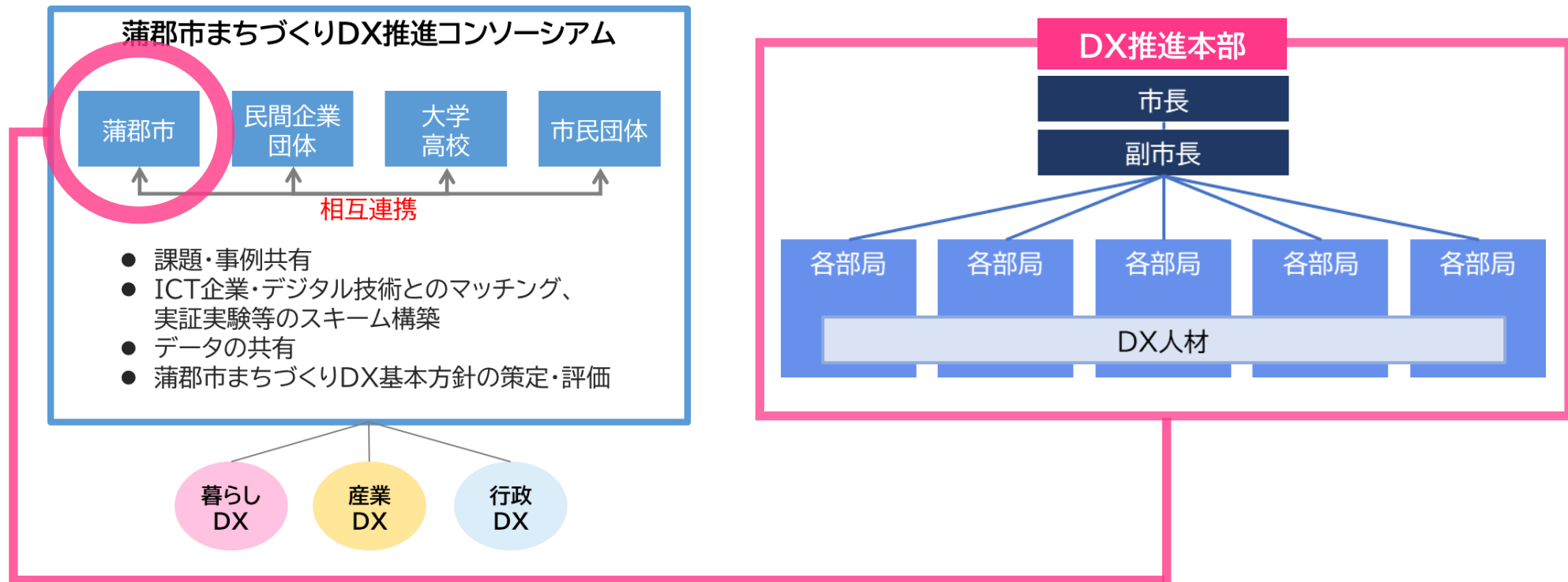
本市では、「暮らしのDX」、「産業のDX」、「行政のDX」の3つの領域において、まちづくりDXを推進。



行政のデジタル化により、行政事務の効率化や手続きの簡素化、オンライン申請などを推進し、市民サービスの向上を図る形で、「行政のDX」はまちづくりDXを下支えしてきた。

1. 行政DXの進捗について

◆ 行政のデジタル化の推進体制について



DX推進本部は、“まちづくりDX”推進体制のための庁内組織とし、スマート市役所改革推進方針に基づき、行政DXの推進も行う。

1. 行政DXの進捗について

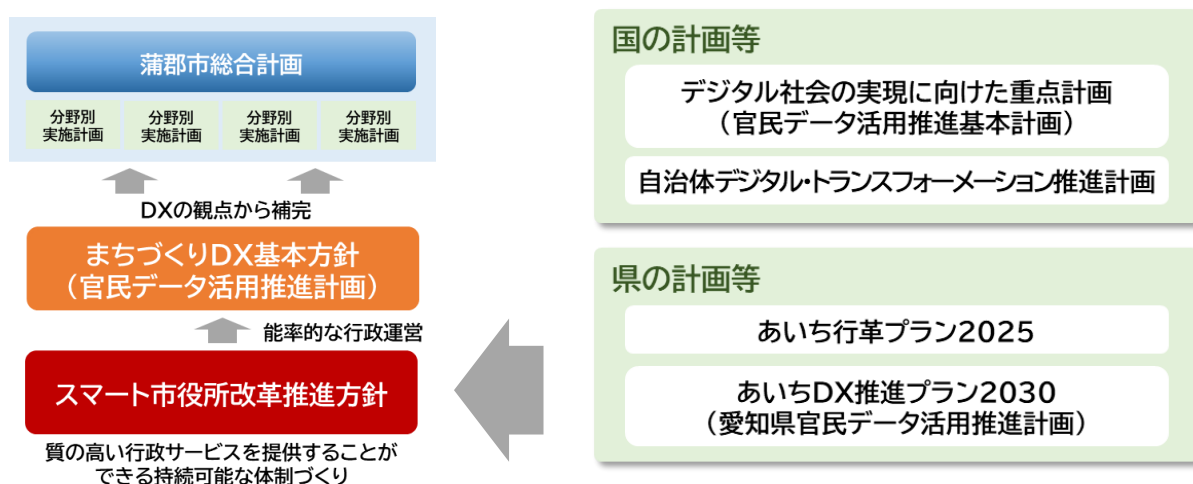
◆ 蒲郡市スマート市役所推進方針の改訂について

【改訂理由】

令和3年3月に策定し、令和7年度が取組期間の最終年度となるため、国及び県の関連計画を参酌し整合を図るとともに、デジタル技術の進歩や社会情勢に合わせて改訂を行います。

【変更の観点】

- 本方針は、スマート市役所を推進するための方針に留め、具体的な取り組み内容については、今後アクションプランを定め、数値目標も設定しながら、令和8年度以降の行政DXを推進していきます。
- 国の自治体DX推進計画では、令和7年12月の改訂により取組に期限を設けないこととなりましたが、本市においては、実効性を持たせるためアクションプランにおいて、令和8年度から12年度までの5カ年計画とした期限を設け取り組んでいくこととしました。



1. 行政DXの進捗について

◆ 直近の取組報告について

フロントヤードの業務改善の観点から、2月5日に窓口利用体験調査を実施。

【実施内容】

モデル市民を設定し、職員が市民になりきって窓口手続を体験する研修。体験を通じて、フロントヤード業務の改善点等を洗い出す。

①世帯主の死亡手続、②市外からの転入手続の2つのシナリオを2グループ(5人/グループ)が体験を行った。

その後、気づきや改善点についてグループワークを行い、発表を実施。

【実際の体験風景】



1. 行政DXの進捗について

◆ 直近の取組報告について

【気づいた点、改善点等】

①死亡手続



- 同じことを何度も記入（氏名、住所等）
- 手続きの全容が不明（残りいくつあるのか）
- 車いすの移動に難あり（通路幅）



- オンライン申請が可能な手続きを増やす
- 「おくやみハンドブック」に手続フローを記載する
- 待合等のレイアウト変更

②転入手続



- 手書きが多い（氏名、個人番号等）
- 事前に必要な情報を得られない
- 同じ課なのに手続き中に窓口の移動が必要



- 一度書いた内容の自動反映
- HP記載事項の再整備、LINEの周知
- 職員が来庁者のところへ移動

【実施後の動き】

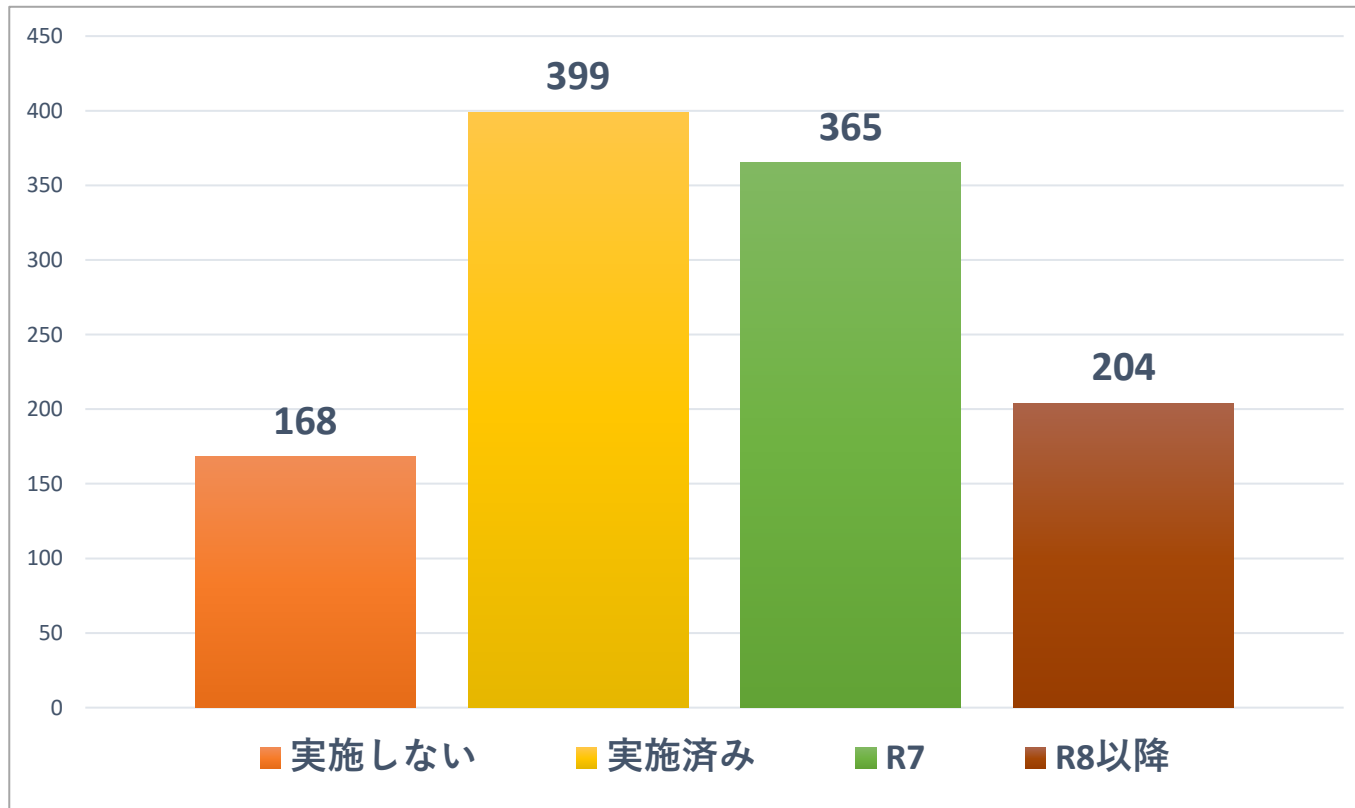
実施内容及び改善内容について全庁周知を実施。

関係各課においては、すぐに取り組める改善点から検討を行ってもらうよう依頼。

1. 行政DXの進捗について

◆ オンライン化取組計画進捗報告について

本取組計画は令和7年度が終期となります。



※令和7年11月時点のオンライン化進捗率となります。現在各課から最終報告を求めている段階です。

次第

1. 行政DXの進捗について
2. 座談会の結果について
3. 今後の作業部会の方向性について

2. 座談会の結果について

◆ 座談会について

【開催日時】

令和8年3月5日(木)午後2時から午後4時まで

【参加者・傍聴者】

出席者					傍聴者			
No.	団体	役職	氏名	備考	団体	役職	氏名	備考
1	中部電力株式会社 地域共生部		内藤克典	中部電力パワーグリッド今泉委員からの推薦者。	中部電力パワーグリッド(株)岡崎支社総務・広報・資材グループ	地区統括長(副長)	杉浦博志	今泉委員から同席の申し出あり
2	NTT西日本株式会社 東海支店 ビジネス営業部 第二エンタープライズビジネス営業部門 社会基盤営業担当	担当部長	中島盛治	NTT西日本牧野様からの推薦者。	NTT西日本株式会社 東海支店 ビジネス営業部 第二エンタープライズビジネス営業部門 社会基盤営業担当		牧野幸弘	コンソーシアム委員
3	形原地区公共交通協議会	会長	藤田幸三	コンソーシアム委員				
4	蒲郡観光協会	常務理事	瀬川功	コンソーシアム委員				
5	(株)Enjoy System	代表取締役社長	細井勇佑	蒲郡商工会議所松岡様からの推薦者。				
6	蒲郡商工会議所 中小企業相談所	所長	松岡祐志	コンソーシアム委員				
7	株式会社CONTE	代表取締役/CEO	吉口慶	蒲郡商工会議所松岡様からの推薦者。				

※その他、観光まちづくり課、交通防犯課の職員も同席。

2. 座談会の結果について

◆ 座談会について

【実施内容】

① 冒頭に事務局より以下について説明

《説明内容》

- ・これまでのまちづくりDXの経緯及び取組内容
- ・作業部会設置に動いた経緯等
- ・総務省が公表している「地域社会のデジタル化に係る参考事例集」から観光交通の取組事例の紹介

② 座談会参加者の方々お一人お一人から自己紹介等のご発言

《発言内容》

- ・ご自身の取り組んでこられた事業などの説明
- ・こういった形でまちづくりDXの作業部会に協力できるかetc.

③ ご発言者毎に発言に対する気になった点など意見交換を実施

2. 座談会の結果について

◆ 主な意見について①

- 車載カメラやドローンを使って道路やカーブミラー、橋梁など、**社会のインフラ構造物**の映像を収集し、**AIを使って危険度がないかの解析**をする仕事に携わっていた。
- 滋賀県では、観光地や公共施設のデータを見える化し、観光客の方に**利便性高く回遊**してもらう取組みを実施している。
- 他自治体では**土日や深夜**など使われていない時間の**公用車のカーシェア**などの取組をした実績がある。
- 岡崎市で防犯カメラや監視カメラを使って、**属性データを収集**し、どういう人がどこに行っているかをデータから分析し、観光施策に役立てている。
- **スマートメーター**により電力情報がデータ化されており、そのデータを分析し活用する取組みができるのではないか。
- 長野県飯田市では、**太陽光を使って地域の電力を供給**しながら、EVバス購入して有事の際はEVバスを走らせる実証実験に取り組んでいる。

2. 座談会の結果について

◆ 主な意見について②

- 名古屋南地域で周辺MaaSタクシーという事業もやっている。用途や目的地が一緒の方の相乗りするシステム。
- 常滑市では、宿泊税を使ってコミュニティバスを無料開放し、観光客に載ってもらう仕組みを昨年度が実施。様々なセンサーを電柱やバスに設置し、市民の利用が多いのか、観光客の利用が多いのかなど、色んなデータをとってコミュニティバスの効果検証をしている。
- 電柱を活用して日頃は観光データを、非常時は避難情報を出すなどデータをうまく活用できればと考えている。電柱を活かした取組も検討してもよいかと思う。
- トヨタ財団の助成を受けて、若者が主体となってデジタル技術を活用して地域課題を解決する「蒲郡ハッカソン」という取組をしている。交通の関係の取組では、蒲郡の道の状態が悪いところをマップに落としとして把握できるものを高校生が作るのをサポートするなどの活動をしている。
- 蒲郡商工会議所青年部の取組として、「がまごおり未来創造塾」というものがあり、1期生として活動している。地域課題をビジネスで解決するをコンセプトして取り組んでいるもの。

2. 座談会の結果について

◆ 主な意見について③

- 「飯(メシ)撮り」というアプリの開発をしてそのうちリリースする予定。素人が撮っても、AIが加工してプロが撮ったような写真にできるもの。
- 介護現場で情報伝達に漏れが多いという現状があるが、キーボードを打つという手間もあるので、声で入力ができ申送り書ができるというシステムを実証している。
- 市議会がYouTubeにアップされているが、見られていないという現状があるので、自動的に文字起こしされて、ブログ記事のようになって議会を30秒で理解できるみたいなものも実験で作っている。
- 水道料金の支払いについてデジタル化をしてほしい。ただ電力などは窓口がもうないが、水道はまだ窓口がある。それもDXが進まない原因かと思う。
- 蒲郡の観光は、昔は団体客を受け入れる観光地として発展してきたが、昨今は家族や友人、個人単位の旅行者をターゲットとしており、取り組む方向性が変わってきているため、アプローチの方法を変えていく必要がある。

2. 座談会の結果について

◆ 主な意見について④

- 蒲郡の駅前は熱海のような観光の駅前らしさがない。また温泉郷はあるが、温泉街とは言えない。
- 竹島水族館への観光など観光客はとても多いが、蒲郡に観光に来る人は、日帰り客が約8割であり、車での来訪者も約8割である。そのうえで、駅からの2次交通を整備するより、車で回遊させていく周遊ルートの提示を検討する必要があるのではないか。
- 蒲郡に遊びに来る人は地元の方のおすすめスポットなど意見を聞いたがっている。口コミなどが掲載できる市民投稿型の観光情報案内アプリなどが必要と感じる。
- バス路線とコミュバス路線が競合しないよう設定されているため、利便性が低い。

2. 座談会の結果について

◆ 実施所感(良かった点、反省点等)

- 市内のICT企業の2社の方に、本まちづくりDXの取組に**関わっていただくきっかけ**を作ることができたこと、またDXを進めるためには、技術だけではなく**人と人のネットワークが重要**であることから座談会の開催意義はあったと感じている。
- また市内ICT企業と大手企業(NTT西日本や中部電力)がまちづくりの意識をもって**同じ視点で意見交換ができた**のは成果があった。
- 行政や地域に対して、「**こうあるべきだ**」、「**こうしていきたい**」といった強い思いを参加された方々皆さんから感じることもできた。
- 各参加者の説明の度に**闊達な意見交換がされたため、全体的な時間が足りず、議論を収束させきれなかった。**

次第

1. 行政DXの進捗について
2. 座談会の結果について
3. 今後の作業部会の方向性について

3. 今後の作業部会の方向性について

- 今回の座談会で議論がまとまりきらず、方向性や取組内容を確定させていくまでに至らなかったため、再度集まる場を設け議論を深めていきたい。
- 次回以降は作業部会の活動として、実施していく。
- 座談会のなかで、観光と交通分野以外の意見も出てきたため、分野を限定しすぎず作業部会のなかで議論し、取り組める内容を決めていくこととしたい。

【次回以降の開催内容案】

- ① 若者の意見を取り入れるために、学生(大学生や高校生)などを交えて、まちづくりDXの議論を行う。
- ② 観光交通分野以外の分野をテーマに議論を行う。

3. 質疑等

4.閉会(ご連絡事項等)

<ご連絡事項>

- (1) 次回コンソーシアム会議について
令和8年度も年2回程度の開催を予定しています。
- (2) 委員の変更事項について
人事異動等により役職・お名前に変更が生じた場合は、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (3) 議事録等の公開について
4月中旬頃を目安にホームページで公開させていただく予定です。
※場合によっては公開時期が前後する可能性があります。

<事務局>

デジタル行政推進課 小島・山本

電話:0533-66-1209

メール:joho@city.gamagori.lg.jp